

## 最先端のAI搭載内視鏡を導入

当院では**AI技術を搭載した最先端の内視鏡を導入しました**。テレビCMで見たことがある方もいらっしゃるかもしれませんが、このAI技術により、より正確かつ迅速な診断が可能となり、内視鏡検査の質の更なる向上が期待されます。

日本において、**がんで亡くなる方のうち、大腸がんは2番目、胃がんは3番目に多い病気**です。がんにより命を落とす原因は、**早期で発見されないため**です。

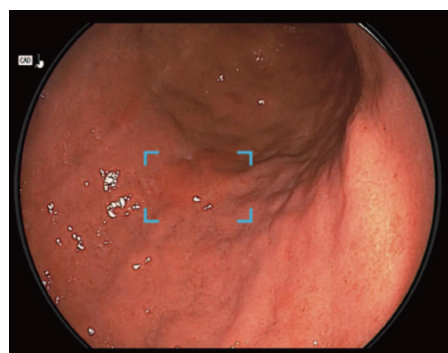
胃がん、大腸がんは、早期で見つければ治すことが可能です。また、外科手術ではなく内視鏡手術で、体の負担をより少なく治療することもできます。内視鏡検査は、消化管のがんを早期に発見、診断できる検査ですが、人の目でみるため、早期がんが見逃されてしまうという事も避けられませんでした。**AI搭載内視鏡を導入することで、早期がんの発見促進によって、皆様の体を守る一助になればと考えています。**

### ■AI搭載内視鏡とは

内視鏡検査中に、胃がんや大腸がん、大腸ポリープなどの病変が見つかった場合、**AIがリアルタイムに検知して、指摘してくれる**内視鏡画像診断支援システムです。

スマホの写真撮影のときに、ヒトの顔を認識して四角いフレームが出てくるのと同じように、AIが病変を検知したら、内視鏡画面の中に四角いフレームが出て、医師に知らせます。

このシステムにより、**検査を担当している医師の目と同時にAIの目も加わるようになります。**



### ■AI搭載内視鏡のメリット

AI搭載内視鏡は、まだ発売されて間もないため、どのくらい有用なのかのデータが少ないものの、以下のメリットが期待されています。

#### 精度の向上

AIは膨大な数の画像データから学習しているため、従来の方法では見逃されがちな早期の病変だったり、一見では分かりにくい病変も、検出できる確率が上がります。

#### 検査時間の短縮

AIの高速な分析能力により、検査時間が短縮され、検査を受ける方の負担が軽減されます。

#### 診断の支援

医師はAIの分析結果を参考にしながら診断を行うため、より高い信頼性を持った診断が可能になります。

### ■健診・がん検診を定期的に受けましょう

早期の胃がん、大腸がんは症状がありません。痛みや血便などの症状は、進行がんにならないと出てきません。そのため、**胃がん検診、大腸がん検診など、定期的な健診・がん検診は、病気の早期発見・早期治療に不可欠です**。症状がないときに見つけるからこそ、未来の健康でいられる時間を守ることにつながります。

当院は、最新のAI搭載内視鏡の導入により、検査を受ける方に、より高品質な医療サービスを提供することを目指しています。ぜひこの機会に、健診・がん検診をご検討いただき、自身の健康を守る第一歩としてください。



QRコードから、当院で導入するAI搭載内視鏡についての動画や記事を読むことができます。

※AI搭載内視鏡装置は2台導入しますが、全ての検査をAI搭載内視鏡装置で行うことはできません。

※AI搭載内視鏡装置による検査を希望されても、お応えできない場合があります。